

第 37 回 建設業経理士 1 級 原価計算(解答分析会) 会計アカデミー(旧弥生カレッジ)

<解答検討会：資料>

この資料は会計アカデミー（弥生カレッジ）が担当者 1 人で解答検討用に作成したものであり計算ミスや考え違いなどが含まれている可能性があります。解答検討会終了後に変更される可能性があります。ご了承ください。

第 1 問

チャット GPT より

問 1：原価計算制度における原価の本質は以下の 4 つを中心とする

①経済価値の費消

→ 物的・人的・サービスの資源の消費を貨幣額で測定したもの。

②一定の給付に転嫁される価値

→ 消費された価値は製品・工事などの成果に対応し、最終的に売上収益へ転嫁される。

③経営目的に関連したもの

→ 企業の経営活動を達成するために関連性をもつ費用に限定される。

④正常的なもの

→ 偶発的・異常な損失を除き、通常の経営活動の範囲で生じた価値消費のみを原価とする。

【採点基準（20 点満点）】

① 経済価値の費消（5 点）

- ・ 「経済価値の消費」「資源の費消」「貨幣額で測定」などの趣旨が明記されている → 満点。
- ・ 「費消」「消費」の語が抜けている → 2～3 点減。

② 一定の給付に転嫁される価値（5 点）

- ・ 製品・工事・成果物に対応、収益へ転嫁される旨を明記 → 満点。
- ・ 「成果物への対応」だけで転嫁の表現なし → 2 点減。

③ 経営目的に関連したもの（5 点）

- ・ 「経営活動に関連」「経営目的に有用な費用」などの表現がある → 満点。
- ・ 単に「事業に必要」といった漠然表現 → 2～3 点減。

④ 正常的なもの（5 点）

- ・ 「偶発的・異常な損失を除外」「通常の経営活動の範囲」など明記 → 満点。
- ・ 「正常」という語だけで具体性がない → 2～3 点減。

問 2 : 模範解答例 (250 字以内)

複数の車両で工事用資材を運搬する場合、車両に関する燃料費・減価償却費・修繕費などは社内センター制度に基づき「車両運搬センター」に集計される。これを稼働時間、運搬量、走行距離などの合理的な配賦基準により各工事に配分し、工事原価に算入する。こうした処理により、車両関係費用は一旦補助部門費として集計された後、利用実績に応じて最終的に各工事に負担させることができ、費用の公正な配分と収益対応の適正性が確保される。

(249 字)

採点観点 (20 点満点例)

- 社内センター制度の説明 (5 点)
- 車両費の収集方法 (5 点)
- 配賦基準の例示 (5 点)
- 工事原価への算入意義 (5 点)

第 2 問

1	2	3	4	5
B	A	A	B	B

第 3 問 (29 回 4 問と同じ解答欄という前提です)

問 1

501	502	503
9,300,000	5,580,000	3,444,000

問 2

	材料消費量差異	賃率差異	作業時間差異
501	300,000 B	30,250 B	20,000 B
502	300,000 B	19,000 B	80,000 B
503	100,000 A	8,500 B	8,000 B

予算差異	変動費能率差異	固定費能率差異	操業度差異
7,500 B	43,200 B	64,800 B	108,000 B

第 4 問

問 1 2,700,000 4,320,000

問 2 3,000,000

問 3 以降は時間なかったので自信ありません（申し訳ありません）

問 3

導入時	32,000,000 B
1 年目	7,780,000 A
2 年目	8,130,000 A
3 年目	8,480,000 A
4 年目	8,830,000 A
5 年目	7,180,000 A

問 4

計算していませんが、上の回答が正解ならば、計算は簡単でしょう
残存価額で売却できることをお忘れなく

$$\begin{array}{l} \text{501} \xrightarrow[\text{(9,000)}]{9,600} 1,500 \text{ D } 9,300,000 \\ \text{502} \xrightarrow[\text{(5,400)}]{6,000} 900 \text{ 1 } 5,580,000 \end{array}$$

$$60\% \left[\begin{array}{l} \text{503} \xrightarrow[\text{(4,200)}]{4,000} 700 \text{ 2 } 3,000 \\ \xrightarrow[\text{(4,200)}]{4,000} 420 \text{ 2 } 3,200 \end{array} \right) 3,444,000$$

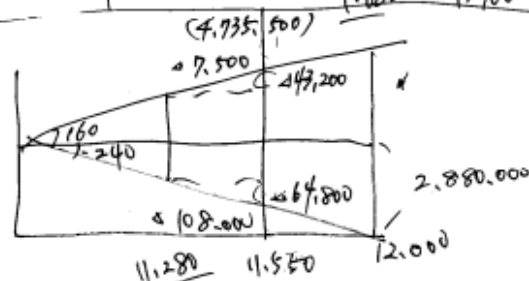
	材(数)	毎年平均	除内主号 15年
501	300,000 (B)	30,000 (B)	30,250 (B)
502	200,000 (B)	20,000 (B)	19,000 (B)
503	100,000 (A)	8,000 (B)	8,500 (B)

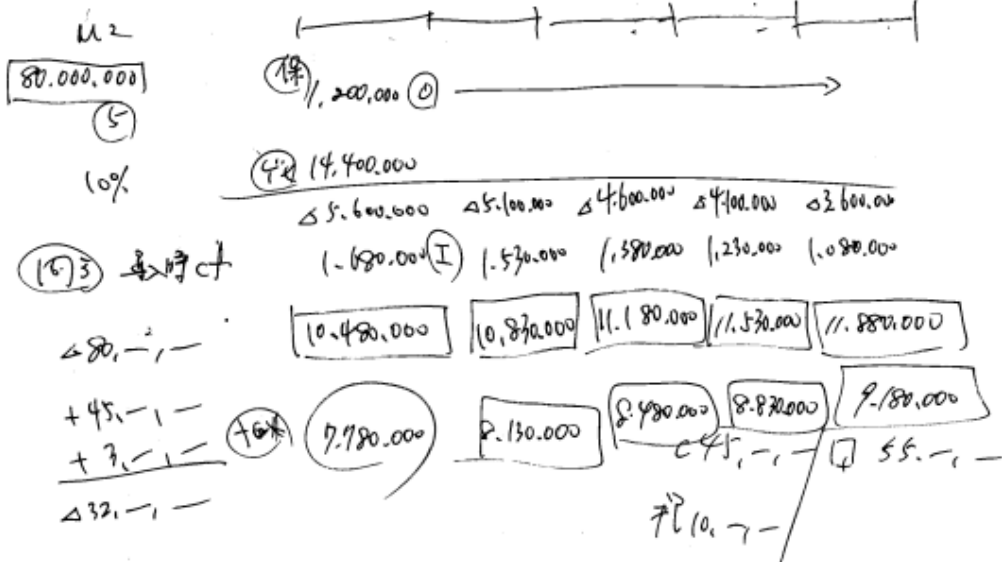
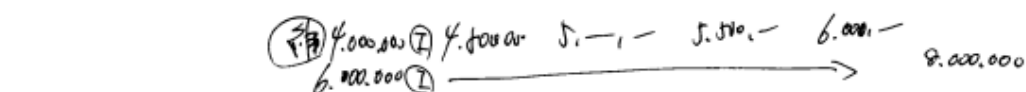
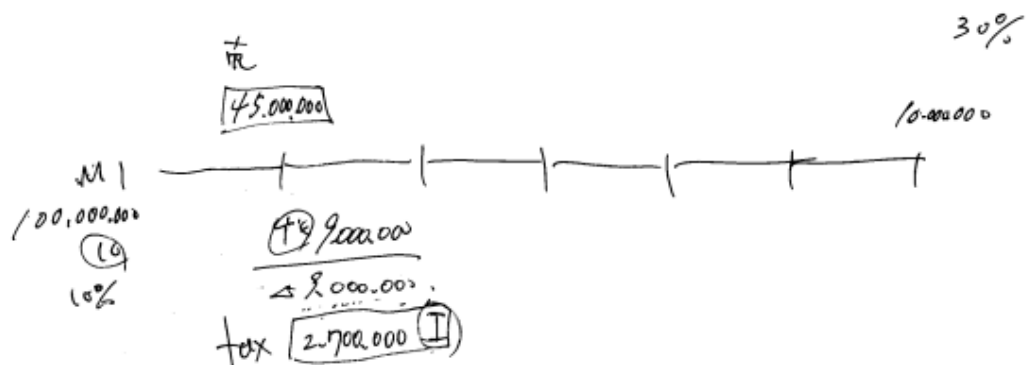


501 9,000 9,600
 502 5,400 6,000
 503 4,200 4,000

405
 405
 405
 400

6,000 6,050
 3,600 3,800
 1,080 1,700





(20)	
10.000 x @ 4.000	9.000 x @ 4.000
10.000 x @ 4.500	4.000
@ 5.000	4.000
@ 5.500	5.000
@ 6.000	6.000

建設業経理士1級・合格プログラム		NEW!		添削付きで この価格!!!	
① 基本講義 (オリジナルレジュメ) 財務諸表24回 原価計算18回 財務分析17回	45分	建設業経理士1級 3セット 合格バック	35,000円 (税込: 38,500円)		
② 過去問ゼミ TACIS「合格するための過去問対策」 各10~19回も20回以降追加講座 27~36回の個別講座を追加 最新の過去問集に掲載されていないものは問題と解説がダウンロード可能です	8時間+		32,000円 (税込: 35,200円)	33,000円 (税込: 36,300円)	
③ 理論対策 (財務諸表6時間・原価計算3時間) 概説書の記述問題をワンポイント解説		建設業経理士1級 2セット 合格バック	26,000円 (税込: 28,600円)		
④ 添削 (赤ペン添削1回・ライブ添削1回) 試験の前月に各講座1問出題・ライブ添削会 チャットGPTも活用			23,000円 (税込: 25,300円)	24,000円 (税込: 26,400円)	
⑤ オンライン合宿		建設業経理士1級 (財務諸表) 合格バック	18,000円 (税込: 19,800円)		
⑥ 財務分析3問・4問強化塾			15,000円 (税込: 16,500円)	16,000円 (税込: 17,600円)	
⑦ 意思決定強化塾 (過去問研究)		建設業経理士1級 (原価計算) 合格バック	18,000円 (税込: 19,800円)		
⑧ 概説書解きまくり講座			15,000円 (税込: 16,500円)	16,000円 (税込: 17,600円)	
⑨ 概説書索引&練習問題 徹底解説		建設業経理士1級 (財務分析) 合格バック	17,000円 (税込: 18,700円)		
⑩ スマホ学習ツール (スマホではじめる建設業経理士1級)			14,000円 (税込: 15,400円)	15,000円 (税込: 16,500円)	
⑪ ライブ質問会 (月2回)					

9月末までキャンペーン①価格 10月末までキャンペーン②価格 安くても内容充実



第38回(2026年3月)建設業経理士1級に合格するぞ

<https://www.youtube.com/watch?v=BXrHhjmMCd8>